

### 【2018年8月25日～2018年8月31日までの推移】

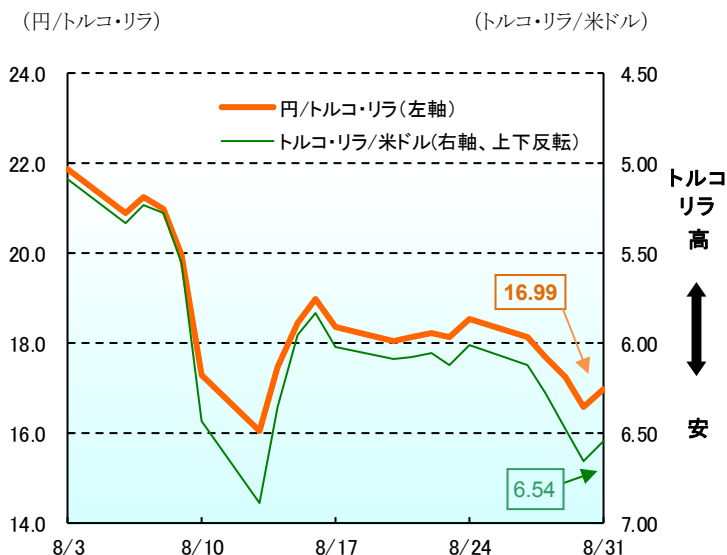
#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は横ばいでした。

連休明けのトルコ・リラは、流動性が回復する中で、引き続きトルコの金融不安の打開策が見出せないことを背景に対米ドル・対円ともに下落しました。またトルコ中央銀行の副総裁辞任も中央銀行の独立性に対する懸念を再度想起させました。債券市場は様子見姿勢が強く、国債金利はほぼ横ばい圏での小動きでした。

なお、トルコ政府は31日（現地、以下同様）に、トルコ・リラ預金にかかる税率を引き下げ、外貨預金にかかる税率は引き上げました。

【トルコ・リラ 為替推移】（2018年8月3日～2018年8月31日）



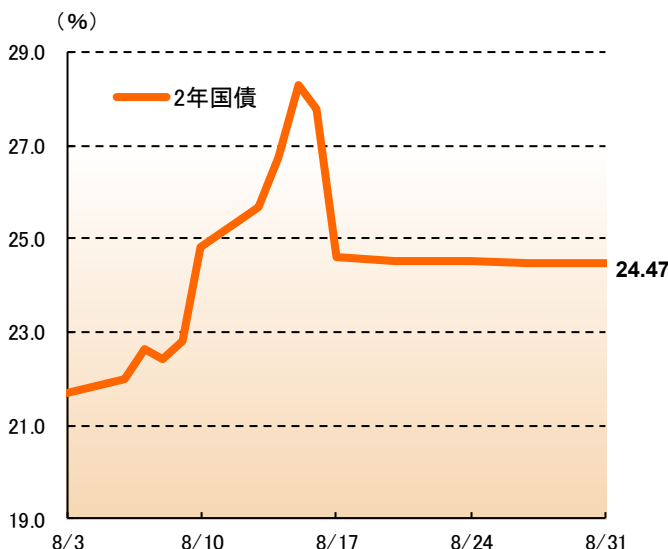
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

今週のトルコ市場は、経済指標では8月のCPI（消費者物価指数）の影響が注目されます。発表された数値は通貨安による輸入価格上昇を通じた物価上昇が再確認され、中央銀行からは、次回会合での政策調整を行うとの異例の声明が出されました。

米国との関係を巡っては、緊迫した状況が続いています。金融政策については、次週13日の金融政策決定会合でトルコ当局により何らかの対応策が採られるのではないかと、今週は比較的様子見姿勢が強くなると考えています。

【トルコ 金利推移】（2018年8月3日～2018年8月31日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>